

ノ・情報が集まる



まるまるひがしにほんとは？



東日本の「ヒト・モノ・情報」の交流や発信を促すため、2019年3月に大宮駅前にオープンした「まるまるひがしにほん（東日本連携センター）」。

東日本の特産品の購入や人との交流など、東日本の魅力に触れることができます。また、新幹線6路線が乗り入れる交通の要衝という、さいたま市の強みを生かし、市内企業と東日本の企業との経済交流が盛んに行われています。



住所 | 大宮区大門町1-6-1

営業時間 | 11時～19時

定休日 | 毎月第1・2・3月曜日

月曜日が祝・休日の場合は翌火曜日

※イベント等により営業時間・定休日は変更となる場合があります。

まるまるひがしにほんオンラインストア



まるまるひがしにほんで販売している商品や限定商品を購入できます。

がしにほん”を見つけよう



東日本の魅力を体験!



1階のシティプロモーションフロアでは、東日本の観光プロモーションなど、さまざまなイベントが開催されています。地元の人との交流は魅力の1つです。「観光にオススメの季節は?」「地元の人々の食べ方は?」など、コロナ禍でもオンラインで交流が行われています。

東日本の魅力を楽しめる
イベント開催!

福島県浪江町 | 3月2日(水)-5日(土)

富山県魚津市 | 3月15日(火)-21日(祝)

特産品の展示・販売など

※新型コロナウイルスの影響により、中止や内容の変更をする場合があります。

ビジネス交流
拠点としての魅力も!

2階のビジネス交流サロンでは、各種セミナーや商談会など、企業間の交流が行われています。公衆無線LANサービスを導入しており、会議室やコワーキングスペースとしても利用できます。

東日本のヒト・モノ



東日本の「いーもの」ぜんぶ!

まるまる
ひがしにほん

まるまるひ で“いーもの”



詳しくは、まるまるひがしにほんへ。

TEL 856・9111 FAX 856・9108

詳しくは、経済政策課へ。

TEL 829・1362 FAX 829・1944

なぜさいたま市は東日本連携に取り組んでいるの？

さいたま市は東日本の玄関口

新幹線6路線が乗り入れる交通の要衝であるさいたま市は、国が策定した「国土形成計画・首都圏広域地方計画」で、「東日本の玄関口」として位置づけられています。

市では、東日本全体の活性化をけん引する中枢都市として、国内外から「ヒト・モノ・情報」を呼び込み、新たな地域産業や市民活動などの多様なイノベーションを生み出すことで、市民や企業から選ばれ、訪れる人を惹きつける魅力にあふれる都市を目指しています。

2015年から「東日本連携・創生フォーラム」を開催し、新幹線沿線をはじめとした東日本地域の自治体や商工会議所・商工会の連携による地方創生や地域の活性化に向けた議論を行っています。

東日本連携・創生フォーラム構成26都市
 函館市、青森市、八戸市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市、会津若松市、郡山市、宇都宮市、小山市、那須塩原市、みなかみ町、新潟市、三条市、魚沼市、南魚沼市、高岡市、氷見市、南砺市、金沢市、長野市、上田市、福井市、さいたま市

「まるまるひがしにほんの店」

東日本を感じられる市内のお店を探そう！

東日本連携の取り組みに賛同する市内店舗を「まるまるひがしにほんの店」として登録しています。右のような「まるまるひがしにほんの店」ステッカーやのぼりが目印です。

店舗一覧はこちら



詳しくは、まるまるひがしにほん、又は経済政策課へ。

東日本各地の観光情報をもっと深く知りたい方へ

つなぐ旅～東日本～ひがしにほんトラベルガイド

東日本地域の魅力を発信する「毎日見に来る価値のある」観光情報ポータルサイト。各自治体の観光スポットや旬なネタまで、幅広く掲載しています。

詳しくは、観光国際課へ。☎ 829・1365 ☎ 829・1944

つなぐ旅東日本ホームページ



平日毎日更新しています！
 旅好きの方は要チェック！

みどころ 1



さまざまなジャンルのテーマごとに各自治体を深掘りする連載

みどころ 2



各自治体がオススメする観光スポットを巡る特集

みどころ 3



各自治体による臨場感たっぷりのYouTube生配信

地元企業も参画!地元でつながるきっかけに 東日本連携で地域経済の活性化を

2016年、市が目指す地方創生の取り組みである東日本連携を応援するため、主に大宮駅周辺の大型店舗で設立された「東日本連携推進協議会」。設立以来、さいたま市の地の利を生かし、東日本の自治体などと連携して、まちのにぎわい創出や地域経済の活性化につながるような活動をしています。

主な活動としては、各店舗で行う催事で東日本の特産品の販売・紹介をすることや、「共同プロモーション」として東日本連携推進協議会の参加企業が連携してイベントを開催することです。

2021年11月には、4回目となる「大宮からの挑戦状」を開催。このイベントは大宮駅周辺の施設を巡って、さいたま市や各施設にちなんだ謎を解きながら、まち巡りを楽しんでもらう企画で、参加した方には抽選で東日本の特産品をプレゼントしました。また、各施設ではイベント期間中に東日本の特産品の販売や紹介も行うなど、東日本連携を通じて、地元を盛り上げています。

東日本連携推進協議会 参加企業

- ・株式会社高島屋大宮店
- ・株式会社そごう・西武 そごう大宮店
- ・株式会社パレスエンタープライズ
パレスホテル大宮
- ・株式会社アルシェ
- ・株式会社丸井大宮店
- ・株式会社東急ハンズ大宮店
- ・株式会社ダイエー大宮店
- ・株式会社ジェイコム埼玉・東日本 さいたま北局



東日本連携推進協議会 代表幹事
高島屋大宮店 店長 二宮修一さん

東日本連携推進協議会代表幹事の二宮修一さん（高島屋大宮店店長）は「新型コロナウイルスの影響により、地域経済は疲弊していますが、『大宮からの挑戦状』のPRの際には、市内の農家からバラを購入し配布するなど、地域経済活性化のために活動しています。」と話しています。



2021年のパンフレット

テレビ広報番組でも!

東日本連携や「まるまるひがしにほん」について放送します!
詳しくは、29ページへ!

「市報さいたま」でも!

4月号から東日本連携の新たな連載企画がスタート!

「東日本の方におすすめしたい市内の魅力」を教えてください!

さいたま市を訪れる方におすすめしたい市内の魅力をテーマに、あなたのお気に入りスポットの写真を募集します。応募者の中から抽選で10人に、市オリジナル盆栽柄おちょこと平杯をプレゼントします。写真は、つなぐ旅東日本ホームページやTwitter(@Eastjp_travel)でも紹介します。

応募方法

Instagram: さいたま市公式アカウント(@saitamacity_official)をフォローし、「#市報さいたま」をつけて投稿してください。

郵送: 写真データ(JPG形式)を保存したCD-Rなどの記録メディア、又はプリントした写真、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を、〒330-9588浦和区常盤6-4-4広報課へ。

※1人につき、データ3点(記録メディア1つ)、又は写真3枚までです。また返却はしません。

応募期限 3月25日(金)※消印有効

※注意事項などについて詳しくは、市ホームページへ。



応募詳細はこちら

公式 Instagram



詳しくは、広報課へ。
☎ 829・1039 ☎ 829・1018

今月の表紙

東日本を
すぐそばで感じられる
さいたまの魅力
新発見!

